

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
1	サブタイトル「～約束 このまちの未来と～」	サブタイトル「～約束 このまちの未来と～」について、決定のプロセスや、その思いを知りたい。	「将来世代へ責任あるまちづくり」とした、まちづくりの基本理念の通り、現世代の市民のみならず、このまちの未来を生きる市民を慮り、幸せを追求することが最も重要であると認識しています。こうした基本理念を根底に、人口減少社会の中、持続可能なまちとして生き残るために抗い、「このまちの未来と約束する」という強い思いのもと、このタイトルを掲げています。
2	基本構想 Ⅰ総合計画策定の概要 3. 計画の構成と期間	句読点を適切に使用し、市民に分かりやすい表現に努めていただきたい。	
3	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (1)本市の住みよさ	「市民のニーズや市政に対する考え等を伺うアンケート」の前段に「本市の住みよさや施策に対する満足度の他」を加え、「本市の住みよさや施策に対する満足度の他、市民のニーズや市政に対する考え等を伺うアンケート」という表現にしてはどうか。	ご指摘いただきました箇所を修正し、市民の皆さまに分かりやすい総合計画となるよう努めてまいります。
4	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (1)本市の住みよさ	「住みよい」と、鉤括弧のない住みよいが併記されており分かりにくいいため、表現の統一を図られたい。	
5	基本構想 Ⅱ周南市を取り巻く社会情勢(時代の潮流) 6. 注目されるSDGsの次	「持続可能な世界の実現とした理念」について、「持続可能な世界の実現という理念」といった表現にしてはどうか。	検討した結果、ご提案の表現には変更いたしません、市民の皆さまに分かりやすい総合計画となるよう努めてまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
6	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (4)満足度と重要度の関係	満足度と重要度の関係において、文章は各個別項目についてではなく、例えば・食生活・教育・行政サービス・商業施設・娯楽・医療・防災・雇用・産業振興・交通網など、部門別に括って表現したほうが良いのではないか。	ご指摘の通り、満足度と重要度の散布図において、様々な視点から整理し分析することは重要であると認識しております。この度の計画では、そうしたまとめ方はしていませんが、今後様々な施策展開を図っていくにあたり、貴重なご意見として承ります。
7	基本構想 Ⅱ周南市を取り巻く社会情勢(時代の潮流) 1. 危機的な人口減少・少子化高齢化	人口減少問題を厳しく認識するため、人口が「急激傾向にある」や「減少傾向にある」といった表現にせず、「急激に減少している」といった表現にしてはどうか。また、同様の観点から、「人口減少の流れに抗い、計画年度の最終年度」の記載について、「少なくとも」を追加し、「人口減少の流れに抗い、少なくとも計画年度の最終年度」としてはどうか。	ご指摘いただいた「急激傾向にある」につきましては、表現を修正させていただきます。
8	基本構想 Ⅱ周南市を取り巻く社会情勢(時代の潮流) 3. 急進展するデジタルが支える社会	デジタル技術の活用は、社会課題の効果的な解決の有効な手段の一つであるとした趣旨として捉えた方が良いのではないか。	ご指摘いただきました通り、デジタル技術の活用は、社会課題の解決に向けた一つのツールであると認識しております。市を取り巻く社会情勢としては掲げておりませんが、そうした認識を根底に、市民のニーズを把握しながら「情報力・デジタル力を生かす施策の束」を推進してまいります。
9	基本構想 Ⅱ周南市を取り巻く社会情勢(時代の潮流) 3. 急進展するデジタルが支える社会	デジタル化の推進が進む中、デジタル技術の活用が苦手な人に対して、配慮しながら取組を進めていただきたい。	ご指摘いただきました通り、情報格差への対応は課題として認識しております。そうしたことから、「情報力・デジタル力を生かす施策の束」として、情報力・デジタル力を積極的に活用する視点に加えて、全ての市民の皆さまがデジタル技術の恩恵を受けられるよう、デジタル・デバインド対策に取り組んでまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
10	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (1)本市の住みよさ	市民アンケート結果を厳しく認識し、『平成30年と比較すると、「住み続けたい」が微減し「どちらかといえば住み続けたい」が微増となっている』といった表現にしてはどうか。また、満足度、重要度について、いずれも低い項目を先に示した方が良いのではないか。	本項目では、市民の皆さまの意識の推移をお示していることから、ご提案いただいた表現にはしておりません。しかしながら、ご指摘いただきました通り市民の皆さまのニーズを把握することは重要であると考えております。市としましては、この度のアンケート結果はもとより、本市における現状や課題を整理し、まちづくり総合計画に基づき様々な施策に取り組んでまいります。
11	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (2)施策に対する満足度(3)今後の生活にとっての重要度	市民アンケート結果について、「上水道の整備」が満足度が高い項目として挙げられているが、中山間地域の一部においては、水道が敷設されていない地域もあるため、満足できない項目である。また、重要度が低い項目として、「農林業の振興」が挙げられているが、中山間地域においては重要度が高い項目である。	今後も引き続き、まちづくり総合計画に基づき、市全体の発展はもとより、地域バランスやそれぞれの地域の実情等にも配慮しながら、様々な施策を推進し、市民の皆さまに住み続けたいと感じていただけるようなまちづくりに取り組んでまいります。
12	基本構想 Ⅲ市民の意識 1. 市民アンケート調査 (4)満足度と重要度の関係	重要度が高いが満足度が低い施策項目については、「何を理由に不満・満足度が低いのか」というデータがあれば添付されるとよいと考える。	市民アンケートにおける当設問は、市民の皆さまが感じている現在の「満足度」と、今後の生活にとっての「重要度」を伺う設問であり、その理由について伺う設問を設けておりません。 ご指摘いただきました通り、問題解決に向けて課題を把握し、その要因を分析することは重要であると考えております。お答えいただく設問数に限りがあることから、今回は設定しておりませんが、次回のアンケート分析と今後の施策展開を図るための貴重なご意見として承ります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
13	全体	国、県等との連携は重要であるが、市がイニシアチブを握ってまちづくりを進めていく表現が必要ではないか。	ご指摘いただきました通り、急激に変化する社会情勢や、多様化・複雑化する市民ニーズに対応するためには、国・県等との連携だけではなく、本市独自の取組が必要です。こうしたことから「まちの強み進化戦略」として、本市が持つ強みとなる種をまき、育み、そして進化させるため、脱炭素化に向けた取組や、こどもまんなか社会の実現に向けた取組、さらには本市の経済を牽引するコンビナートの持続的な発展に向けた産業基盤の整備や、知の拠点である周南公立大学及び徳山工業高等専門学校との連携強化など、本市独自の様々な施策を戦略的に行ってまいります。
14	全体	市の目玉となる施策をつくるべきではないか。	
15	全体	行政は経営的視点とともにスピード感を持って取組を強化するべきではないか。	ご指摘いただきました通り、まちづくりを支える持続可能な行政経営が必要であると認識しています。こうしたことから、本計画では分野の名称を「行政経営」とするとともに、市民生活を支える基盤強化として、「高い行政力と職員力を構築する施策の束」を推進し、急激に変化する社会情勢の中にあっても、多様化する市民ニーズに迅速に応えながら、将来世代に責任あるまちづくりを進めてまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
16	全体	周南公立大学生の市内定着促進や、いったん周南市を離れて行った若者が結婚や子育てのタイミングで帰ってくることを検討できるように、子育て環境の整備、移住・定住策の充実など、帰ってきたい、住んでみたいまちになっていることを期待する。	今後も引き続き、若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい環境づくりや、起業・創業による新たな雇用の創出等を推進することによって多様な就業機会を確保するとともに、子育て環境や教育環境を充実させることにより、若年層の人口流出を抑制し、進学等のために都市圏へ出た若者が回帰できるまち、更には、出身者以外の人達も住んでみたいと思う魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。
17	基本計画全体	主な成果指標の設定にあたっては、設定の根拠や目標値の達成に向けた考えを十分に整理していただくようお願いしたい。	本計画では、推進施策の目的達成度を測るために主な成果指標を記載しています。この成果指標は、行政の活動量を示すものではなく、官民が連携して施策を推進した結果、市民生活にどれだけ影響があったものかをお示しするものです。計画書には掲げておりませんが、成果指標の設定根拠等をしっかりと整理し、目標値の達成に向けて、PDCAサイクルによる評価検証を実施し、まちの将来像の実現に向けて取り組んでまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
18	基本計画全体	市民に分かりやすい成果指標とするため、現状値や目標値を図等により可視化するべきではないか。	現在、本計画の成果指標につきましては、現状値や目標値の可視化は行っておりませんが、今後市民の皆さまの理解が深まるような表現方法や取組のPRを検討してまいります。
19	基本計画 情報力・デジタル力を活かす 施策の束	情報力・デジタル力を活かす施策の束について、「情報力」を「情報の力」あるいは「情報の持つ力」とするとともに、「デジタル力」を「デジタルの力」あるいは「デジタルの持つ力」としてはどうか。	本計画では、情報力につきましては、「情報の持つ力と情報を収集・分析・活用する総合的な能力」、また、デジタル力につきましては、「デジタル技術の力とデジタル技術を活用する力」として定義しております。表現の変更はいたしません。これらの定義を用語集において解説いたします。
20	基本計画 前期基本計画の体系図	高い行政力と職員力を構築する施策の束 については、全ての推進施策に薄い着色がある状態が望ましいのではないか。	本計画で掲げている施策の束につきましては、複数の推進施策を束としてまとめ、それらが目指す方向性を施策の束の名称でお示しております。ご指摘いただきました体系図の表現にはしておりませんが、急激に変化する社会情勢の中にあっても、多様化する市民ニーズに応えながら、将来世代に責任あるまちづくりを進めてまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
21	1-1 商工業の振興	電力、工業用水等の原資の安定供給、脱炭素化及び持続可能性の観点から、関係団体と連携して取り組むことも計画に盛り込むべきではないか。	工業用水の渇水対策は、県の企業局が事業主体となり、温見ダムを水源とする下松市工業用水からの応援給水、また、中山川ダムを水源とする島田川工業用水の通水事業の運用を開始しています。渇水時には、速やかに応援給水や通水が実施されるよう市の考え方を基本計画として掲げ、周南コンビナート企業をはじめ、工業用水の利用者が生産活動に支障を来さないよう、引き続き、企業局や周南地区工水利用者協議会との連携を図ってまいります。
22	1-1 商工業の振興	成果指標として、地場の企業や個人(特に中小企業)が自社サービスや商品によって、新たに「市外・県外」から収益を獲得したことが図れるような指標が必要ではないか。	市内中小企業等が生産したモノ、サービスが市外・海外で消費されることは大変重要と認識していますが、その売上額の精緻な補捉が困難であるため、成果指標として設定することは難しいと考えています。 市としても、委員のご意見と同様の認識のもと、市外や海外からの収益拡大に向けて、周南地域地場産業振興センターや日本貿易振興機構(ジェトロ)などの関係機関と連携して、中小企業や個人事業主の販路拡大を引き続き支援してまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
23	1-1 商工業の振興	商工業の項目でありながら、商業についての記載がほぼないため、商業についても取り上げるべきではないか。また、成果指標も必要ではないか。	<p>コロナ禍や物価高騰は、商業・サービス業だけでなく、あらゆる業種の中小企業・小規模事業の経営に大きな影響を及ぼしました。</p> <p>地域経済の活性化や雇用の安定を図るためには、市内事業所の99%を占める中小企業・小規模事業者の経営の安定や事業継続を支援することが大変重要であると認識しています。</p> <p>こうしたことから、今回の計画では「中小企業等の経営安定化」を1つの柱として据え、商業も含めた、中小企業・小規模事業者を広く支援するという整理をしています。</p>
24	1-1 商工業の振興	成果指標「未来人材奨学金返還支援事業登録事業者数」について、登録事業者数となっているが、利用者数(申請者数)の累計も併せて成果指標としてはどうか。	ご指摘いただきました通り、登録事業者数と併せて利用者数を成果指標とし、若者の定住促進に取り組んでまいります。
25	1-1 商工業の振興	成果指標を「徳山下松港(徳山地区・新南陽地区)岸壁整備延長及び背後地の整備」としてはどうか。	<p>成果指標につきましては、今後5年間を見据えた推進施策にかかるものであるため、現行の徳山下松港国際物流ターミナル整備事業で整備予定である徳山地区・新南陽地区の岸壁整備延長とし、大型船舶による共同輸送を可能とする現行事業の早期完成を図りたいと考えています。</p> <p>一方で、ご指摘のとおり、昨今のカーボンニュートラルポート形成に向けた動きがある中で、バイオマスの保管用地の確保も急務となっていますことから、引き続き、産業競争力の維持・強化とカーボンニュートラルの両立に向けた港湾整備が着実に進められるよう、国や県と協議してまいります。</p>

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
26	1-2 地域ブランドの推進	ふるさと納税を利用した広告効果を成果指標として加えてはどうか。また、ふるさと納税を利用した広告効果に着目した周南ブランドのブランディング戦略をされてはどうか。	現在、鹿野高原豚をはじめ「しゅうなんブランド」に認定された商品の一部が、「ふるさと納税」の返礼品に登録されています。「しゅうなんブランド」自体の広告効果を数値で設定することは困難ではありますが、「ふるさと納税」の広告効果は大きいと考えていることから、今後も積極的に活用してまいります。
27	2-1 子育て支援の充実	保護者や保育士の負担軽減の観点から、市から保育園・幼稚園に対して、おむつの提供に取り組んではどうか。	保護者、保育士の負担軽減につきましては、ご意見も踏まえ、より効果的な手法について幅広く検討してまいります。
28	2-2 教育の充実	学校給食費の無償化に取り組んではどうか。	国・県や他の自治体の動向を注視しながら、保護者の教育費負担についての総合的な見地から、学校給食費の負担につきまして、しっかりと研究してまいります。
29	2-2 教育の充実	教員不足の観点から、教職員の労働環境の改善に取り組んではどうか。	急激な社会の変化が進む中で、学校を取り巻く課題が複雑化、多様化し、教職員の業務負担も増大しております。このたびの計画に反映させるとともに、今後も、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境の整備に取り組んでまいります。
30	3-1 地域づくり活動の推進	地域の夢プランの策定に向けた取組をPRするべきではないか。	いただいたご意見を踏まえ、これまで以上に積極的な情報発信に努めてまいります。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
31	3-2 移住・交流の推進	移住(UJIターン)対策の制度拡充、PRに積極的に取り組んでいただきたい。	<p>5.推進施策の展開(1)移住支援の充実に記載のとおり、移住希望者のニーズ等を把握しながら、必要な支援制度の創設や制度の充実に努めるとともに、そういった制度に関する情報をターゲットとなる方々に届くよう情報発信を図りたいと考えております。</p>
32	3-4 スポーツの振興	「(仮称)スポーツ活動推進センター」の使用料について、子どもや学生が利用しやすい料金設定を検討されたい。また、スポーツ施設までの交通手段の充実に取り組んでいただきたい。	<p>「周南市地域クラブ」とは、「(仮称)スポーツ活動推進センター」に登録された、今後中学生を受け入れて活動される総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、クラブチームなどのスポーツ団体です。各地域クラブに中学生等が参加される場合、各団体の入会金・会費・活動費等については、各自でご負担いただきます。</p> <p>次に「(仮称)スポーツ活動推進センター」は、市民と地域クラブ(各スポーツ団体)をつなぐマッチング機関であり、使用料や紹介料は不要です。</p> <p>また、「市内公共施設の使用料」につきましては、本市では、個人や様々な団体が市内の公共施設を使用する場合、使用者の受益者負担の原則の観点から、各施設の使用条例に基づき、施設使用料や設備使用料の負担をお願いするとともに、スポーツ少年団をはじめ、スポーツ開放で利用されている団体の学校施設使用につきましては、条例の規定に基づき、施設使用料の全額を免除し、固定照明設備使用料のみを負担していただいています。「周南市地域クラブ」に対する減免の取り扱いについては、現在検討中です。</p> <p>なお、「スポーツ施設までの交通手段の充実」につきましては、公共交通の拡充とした視点ではありませんが、「周南市地域クラブ」については、中山間地域などの移動が難しい地域のために、中学校区で「(仮称)しゅうなんコミュニティ・クラブ」を設置する予定であり、みなさまのご都合に合わせてご選択いただくことができます。</p>

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
33	3-5 観光・交流の推進	こどものみならず、「年齢・障害の有無にかかわらずだれもが過ごしやすい」動物園を目指すとした記載をしてはどうか。	ご指摘の通り、リニューアル基本計画においてユニバーサルデザインやバリアフリーを意識した施設を整備する計画となっていることから、こどもに限定しない表記に改めます。
34	3-5 観光・交流の推進	「道の駅ソレーネ周南」の機能拡充にあわせ、観光交流拠点としてのさらなる充実・強化をはかっていただきたい。	道の駅ソレーネ周南は多くの観光客が訪れる、本市を代表する特色ある観光コンテンツの一つとして捉えております。総合計画の中で具体的な名称は記載しておりませんが、5.推進施策の展開の(1)観光コンテンツの充実の中に「道の駅ソレーネ周南」も含まれていると考えており、より具体的な活用については新たに策定する観光ビジョンの中に記載する予定にしております。
35	3-5 観光・交流の推進	徳山動物園において、観光案内サインの多言語表記化を推進するべきではないか。	動物園来園者に限定せず、本市への観光客に対して多言語表記等による案内サインを整備する施策を進めます。(5.推進施策の展開の「(2)観光客の受け入れ環境の充実」の項目内に記載済みです。)
36	5-1 災害に強いまちづくり	Web版ハザードマップにより意識啓発をとあるが、ここ数年のアクセス数が開示されることで認知の推移が分かると感じる。アクセス推移をご教示いただきたい。	Web版ハザードマップのアクセス数につきまして、令和5年度は40,933回となっておりますが、それ以前の数値の把握はしておりません。ご提案につきましては、今後の施策展開にあたり、貴重なご意見として承ります。
37	5-1 災害に強いまちづくり	現状における地震や津波に関する項目として、「今後発生が予想される南海トラフ地震に対しては、発災後に多大な損害が懸念されることにより、一層の地震防災対策の強化を図る必要性があります。」とした記載を追加してはどうか。	ご指摘いただきました通り、南海トラフ地震に関する記述を追記することといたしました。

No.	項目	意見の要旨	市の考え方
38	5-1 災害に強いまちづくり	推進施策の展開における施設整備に関する項目として、「水道管等の都市インフラ設備の耐震化を図っていきます。」とした記載を追加してはどうか。	都市インフラ整備に関する記述につきましては、基本施策7-1「インフラマネジメントの推進」において記載しておりますので、本項目では未記載とさせていただきます。
39	5-1 災害に強いまちづくり	成果指標として「ハザードマップ等の周知・理解度」を加えてはどうか。	本項目では、「率先避難促進事業に取り組む自主防災組織」を主な成果指標として掲げております。その他様々な成果指標がありますが、優先順位をつけることが困難なため、個別にしっかり取り組んでいくこととしております。
40	7-2 都市環境の整備	周南市空き家情報バンクにおける取組など、具体的な取組事例を記載してはどうか。	ご指摘いただきました通り、空き家に関する具体的な取組を記載いたします。
41	7-2 都市環境の整備	放置された空き家を、地域活動の場として利活用してはどうか。	放置された空き家の利活用にあたっては、利活用の方法に応じて所有者や近隣住民のご理解が必要であり、当事者間での調整等の課題がありますが、安全安心な住まいづくりを進めるうえで貴重なご意見として承ります。
42	7-3 都市拠点等の形成	中心市街地に映画館があると良いのではないかと。	民間事業者が映画館などの商業施設の進出を考えるような、魅力ある中心市街地のまちづくりに取り組んでまいります。